

硬式庭球部

九年ぶりの「全日本」出場

経済学部経済学科三年 前田 芳徳



サークル全員集合!

十一月五日、全日本二日目、晴れ、場所は長良川メモリアルセンター。一日目は、福岡大学を五対四で接戦の末、勝利をものにし、今日は優勝候補の第一シード、日本大学戦である。

日大のメンバーは、よく新聞で名前をにぎわしている日本学生テニスのトップレベルの選手ばかりである。現在の学生テニス界は、関東にいい選手が集中して、中四国ではトップレベルの選手を見ることができないのである。そのため広大の選手はみな、めつたに見られないテニスが見られることを楽しみにしていた。

試合開始。相手のショット一つひとつに、相手チームからは歓声、広大チームからはため息といった感じである。一見互角に打ち合っているようにみえるが、コントロールが全然違う。相手のストロークがオンラインに突き刺さる。広大の選手も必死になるが歯が立たない。これが現実である。

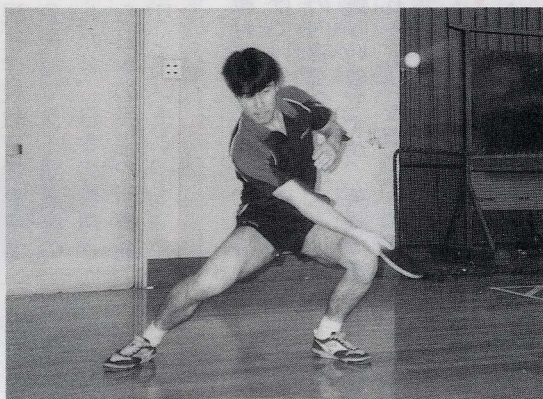
試合結果は、零対九の完敗であったが、トップレベルのプレーを見た我々や後輩たちは、今後のテニスについて考え直す大事な一日、貴重な一日となったことである。(まえだ・よしのり)

卓球部

卓球部のご案内

法学部法学科一年 藤本 和征

我々、広島大学体育会卓球部は、多くの卓球の大会に積極的に参加している。その成績においても、男女・個人・団体を問わず多くの輝かしい成績を残している。また、卓球の大会だけにとどまらず、大学内における行事にも精力的に参加している。



体育館で汗を流す卓球部員

最近では、大学の西条移転という波にもまれ、東千田、西条間を往来しなければならぬ。そのために、卓球部員のライフスタイルも変化しつつあるようだ。それはクルマである。現在では部内でほとんどの人が免許を持ち、車も九台を保有している。ところが、このクルマというやつは金喰い虫で、よってまたまた部員には体力が必要なのだ。しかし、部員のみなさんはよく頑張っている。与えられた仕事はもちろん、予期せぬことにも何のその、といえは言い過ぎだが、とにかく何とかしてしまおうのである。

今年も相次ぐ西条への移転のために、東千田はますます寂しくなってしまう。そこで、西条は言うまでもなく、特に東千田に新入部員が来てもらえれば幸せである。お待ちしております。というわけで、新入部員大歓迎をもって卓球部の紹介を終わらせていただきたいと思ひます。ありがとうございます。

(ふじもと・かずゆき)